

図書館員から読書のすすめ

『人生は、美しい謎に満ちている。』

みやぎ資料室 日野 文都

「謎」というと皆さんは何を思い浮かべられるでしょうか。微笑？秘密の気配？  
 解き明かされるのを待っている、ちょっと日常からかけ離れた不思議な事柄？…いえいえ、ごくありきたりに見える毎日のなかにも、様々な謎が存在します。  
 謎は、どこか遠くまで出かけるとか、特別な体験をしなければ見つけれないものではありません。  
 人生はたくさんの謎に満ちており、それに気づく事ができれば、昨日と変わらないように見える今日を、ほんのすこし興味深く過ごすことができるのです。

今回は、私たちが見過ごしてしまいがちな謎や不思議に心をとめて追求していった人々の話や、それらの過程、彼らが明らかにした事柄を読みやすくまとめた本をご紹介します。

新年度が始まって三か月、慣れてはきたけれど何となく日々が灰色に思えてきたなあ…という時の気分転換にもいかがでしょうか。

こんな本を選びました

『世界を変える七つの実験 身近にひそむ大きな謎』

ルパート・シェルドレイク著 田中靖夫訳 工作舎 1997年

『ヘウレーカ!ひらめきの瞬間 誰も知らなかった科学者の逸話集』

ウォルター・グラットザー著 安藤喬志訳 井山弘幸訳 化学同人 2006年

『自然の見方が変わる本』

日本自然保護協会編 山と溪谷社 2007年

〔叡智の杜〕レポート

「第41回子どもの本展示会」を開催しました。

平成22年4月17日(土)から4月29日(木)まで、本館2階のホール養賢堂において、「第41回子どもの本展示会」を開催しました。本展示会は、「こどもの読書週間」に合わせて毎年開催しているもので、図書館、学校、地域、家庭など、さまざまな場面での「子どもと本の出会い」に役立つことを目的としています。

今回は、本館が所蔵している平成21年に出版された児童書や絵本などのうち、約1,500冊と、産業に関する本(80冊)、赤ちゃん絵本(50冊)、児童資料研究書(30冊)を展示し、会期中は延べ786人が来場しました。会場では、読み聞かせをする親子や、絵本を夢中で読みふける子どもの姿が見られ、豊かな子どもの本の世界に触れるひとときを楽しんでいる様子うかがえました。



図書館からのお知らせ

I / N / F / O / R / M / A / T / I / O / N

① 重要なお知らせ

平成22年10月1日から、返却期限が過ぎた資料がある場合は、その資料が返却されるまで図書館資料の新たな貸出しを受けることができなくなりました。

より多くの方に資料を公平に利用していただくため、ご理解とご協力をお願いいたします。

館長講座を開催します

宮城県図書館 館長 佐藤明男が講師を務め、全3回の講座を行います。

事前申込は不要です。皆様のご参加をお待ちしています。

- テーマ ヨーロッパにみる地方分権
- 日時 ①7月31日(土)「スウェーデン・デンマーク」  
②8月28日(土)「ドイツ・フランス」  
③9月25日(土)「イギリス」

※時間は3回とも午後1時30分から午後3時までです。

- 場所 図書館2階 ホール養賢堂

- 参加 事前申込不要です。当日、会場にお越しください。
- お問合せ 企画協力班(1階)電話:022-377-8444

特別展「時代をよむ—雑誌と歩んだ130年—」

国民読書年にあたり、明治から平成までの約130年間に出版された雑誌のなかから、『国民之友』『中央公論』『赤い鳥』など約200点を展示します。

時代の動きや人々の暮らしの中で雑誌が果たしてきた役割や雑誌の出版文化を紹介します。

宮城県の雑誌出版などもあわせて紹介します。

- 期間 平成22年7月17日(土)から平成22年12月18日(土)まで
- 時間 午前9時30分から午後5時まで
- 場所 図書館2階 展示室
- お問合せ 調査班 電話:022-377-8499



『中央公論』—総合雑誌の最長老。『反省会雑誌』(明治20年創刊)から改題。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889~1891年刊行)に由来する。

第34号 2010年7月発行

編集・発行

宮城県図書館

〒981-3205  
 仙台市泉区紫山一丁目1番地1  
 TEL022-377-8441(代表)  
 FAX022-377-8484  
 ホームページ  
<http://www.library.pref.miyagi.jp/>  
 デザイン/印刷 陽光社印刷(株)

